

会議録

- ・会議名称 第2回鯖江市地域公共交通会議
- ・開催日時 平成20年11月25日(火) 午後2時～午後3時
- ・開催場所 鯖江市役所 新館4階会議室
- ・議題 別紙次第のとおり
- ・会議資料 会議次第、委員名簿、鯖江市地域公共交通会議設置要綱、平成20年度鯖江市つつじバス運行事業概要(資料1)、平成20年度鯖江市つつじバス冬季臨時便について(資料2)、平成21年度鯖江市つつじバス運行変更分について(資料3)
- ・公開・非公開有無 公開
- ・傍聴人の数 0人
- ・出席委員 山本委員、上田正樹委員(上田博委員代理)、小林委員、野本委員(池田委員代理)、相馬委員、湧口委員、堀委員、宮下委員、田中委員、海野委員、加藤委員、鈴木委員、廣瀬委員、杉森委員、坪井委員、藤田委員、前田委員、藤山委員 計18名
- ・欠席委員 山本委員 計1名
- ・事務局 辻本課長、金子参事、峰田主任、小澤主査

1 あいさつ 湧口委員長

2 報告事項

平成20年度鯖江市つつじバス運行の現状について

平成20年度鯖江市つつじバス運行事業概要(資料No.1)について事務局より説明

会長： ただいまの説明について質問があれば後ほど伺いたい。

3 協議事項

①平成20年度鯖江市つつじバス冬季臨時便について

平成20年度鯖江市つつじバス冬季臨時便について(資料No.2)について事務局より説明

事務局： 地図の中に青色で片上・北中山線があるが、高年大学から東陽中学校へ行く路線について、別紙時刻表のとおり運行したい。朝1便と夕方2便の臨時便を冬季間1月8日から3月6日まで運行するという臨時便。これは、昨年も同じように臨時便の運行をしているが、昨年と若干違うところは、朝の出発が舟枝というところから出発したが、バスの待機などを考慮して今年は高年大学を出発点とした。豊線については、12月15日から2月28日までの臨時運行をする。

②平成21年度鯖江市つつじバス運行変更分について

平成21年度鯖江市つつじバス運行変更分について（資料No.3）について事務局より説明・・・辻本課長

事務局： Aの御幸北バス停、Bの持明寺北バス停、Cの横越西バス停の3つを新設したい。Aについては、福武線の市民会議の中で、カーセーブデーの中で福鉄を使ってコミバスに乗ったときに、近くの事業所関係の方から、ここにバス停があればまだまだカーセーブデーに参加できるという要望があった。BとCについては区長さんからここにバス停があれば乗る人が入るので、ぜひ設置してほしいという要望があったため提案をした。

次に、Dの吉江中というバス停を吉江七曲り通り前というように名称を変えたいと思っている。これは、立待地区の近松の里構想の中でこの場所が吉江七曲り通りという名称になっているので、それを生かして分かりやすく名称を変更したいということ。

次に、Eの一部路線変更は地元からバスが通れる道として距離は今までと変わらないが、住宅の横の道路を通過してほしいという要望があった。

次に、Fの丹南高校線を増便するというので、中河・北中山線の第5便を路線延長し、丹南高校から出発するというもの。

会 長： ただいまの提案について質問があれば伺いたい。

委 員： （質問なし）

会 長： これは地元の要請を入れながら、事務局にて検討したもので、ご意見がなければこの2議案について決定させていただきたい。

委 員： 異議なし

会 長： 報告事項に付け加えさせていただくことができるなら、去年の各市町の一人当たりの市の負担額は、越前市が一人当たり308円、越前町が484円、敦賀市は333円、鯖江市は295円だった。今年は乗客数が、約18%増、今の予算でいくと、19年度は4%の経費増、約180万円から190万円の経費増で、お客さんは18%の増ということで、今回はおそらく280円台か270円台になる可能性がある。ということで、近隣では一番生産性が良いということをつけ加えさせていただきたい。

会 長： 報告事項と協議事項はこれで終わりましたので、何かご意見があればお願いしたい。

上田委員： コミュニティバスを走らせてもらっている鯖江交通です。今ほどつつじバス運行概要のところ、低床バス4台、貸切バス2台と書いてありますが、わが社のことですが、低床バスを入れようかなという気持ちもありますが、なかなか市のほうから要請がないので、貸切バスでさせてもらっているんですが、このへんはどのようにお考え

でしょうか。

事務局： 低床の考え方ですが、市の方針としては、低床バスの導入をしたいと思っているが、来年からの運行を低床バスでというのはなかなか難しいと考えている。ただ、コミバスも安定的な路線確保と定着をしてきている。ますますの利用を市民の方にさせていただきたいということから、検討させていただきたいので、もう少し時間をいただきたいという考えでございます。なにぶん経費の問題等もありますし、準備関係も含めましてもう少し時間をいただきたい。できればいろんな方々と相談させていただきながら、最終的には議会とも相談させていただかないといけない。研究を努め、できたら財政状況なども考えながらやっていきたいのでご理解いただきたい。

海野委員： 地域公共交通以外のことで、鯖江の公共施設に指定管理者制度を導入していて、1クールした後、来年の春から2クール目に入るということで、契約期間を延ばしていますよね、そういう考え方からすると、この公共交通の契約というのが今まで単年だったのか2年だったのか知りませんが、こうやって安定してきているわけだから、来年の春以降は例えば3年契約とか5年契約という単位で考えていただいて、地元の業者の方にもある程度先を見越した経営計画をできるようにしてもらったほうが、低床バス導入であるとか、運転手の雇用であるとか、いろんな面で市民にメリットが出てくるのではないかなと思うので、そういうことをふまえて来年の春からのことをお考えいただければと思います。つつじバスは福祉をメインにということを書類上にも謳っているんで、できる限り低床バスで乗りやすくしてもらいたいなということと、低床バスというのは座席数イコール定員じゃないんですよ、路線バスみたいな考え方でいいんですよ、そうすると私PTAの者としては、子どもさんらが何でコミバスに乗りにくいかということの一つの理由に、座席数イコール定員というバスだと、自分が乗りたい停留所の前でいっぱいになったら、自分が乗ろうと思ってもその場で乗れないということもあり得るんですね。そういうのがあって予定が立たないので、つつじバスを通学に使うということがためられる。保護者からすれば、バス停まで行ったが乗れなくて、今から送ってくれとなったらたまったもんじゃないので、そういう意味では停留所にバスが来たら、多少ぎゅうぎゅう詰めでも乗れるという環境のほうが望ましいわけで、そういう面からも低床バスの導入には積極的に動いてほしいなと思います。

会 長： ごもっともな意見なので前向きに検討させていただきたいと思います。

事務局： 今、海野委員からお話がありましたように、行政としては、皆さんが利用されるバスですので乗りやすいバス、利用しやすいバスということで低床バスについては積極的な検討をしたいと思います。ただ、来年の春からということはお約束できないと思いますが、来年早々にはその方向性をきちっと出していきたいと思っていますので、もうしばらく時間をいただきたいと思います。皆さんのご意見を協議の中で十分に活かしながら前向きな検討に入っていきたいという考え方を持っておりますのでよろし

くお願いします。

会 長： この公共交通会議のパンフレットの中に、この会議ばかりするのは大変だということで、幹事会を持って良いということが書かれているんです。というのはここへお計りする前に、ちょっと根回しをするというような会議をしても良いということです。30人も集まっていたら会議をするというのは大変ですので、一度幹事会というのを事務局におまかせして、7、8人の幹事さんの中で一旦考えてご意見を頂戴いたしましてこの会議に提案するという幹事会を設けてもよろしいというものがございませぬ。

廣瀬委員： 幹事会などいろいろな名称がありますがけれども、そういうものを設けていただくのは全然問題ないです。ただ、設置要綱の中にはそういう条項が入っていませんので、その一文といいますか、幹事会を設置するようなものをつくっていただければ十分可能だと思います。例えば、路線につきまして実際・・・の検討の中には交通関係の方だけでも分かりやすいということもあるんで、そういう方々だけの幹事会というものを設置していただくのは何ら問題ないと思います。ただ、この設置要綱の改正が必要かなということでもあります。あと、あわせてですね、他市さんで要綱の中に軽微事項という考え方がありまして、バス停の位置の問題、例えば10mとか20m移動したいというような場合があったときに、基本的にはこの公共交通会議の協議事項になってしまいます。これだけのたくさんの方を集めて協議しなければいけないので、10m程度の軽微な事案であれば地元の方と交通事業者の方を含めて協議したうえで軽微事項という形で、そのへんはこの会議をどうやられるか事務局さんの考えを含めて要綱変更をしていただければいいかなと思います。

会 長： 今の件ですけれども、先ほどの提案いろいろなことがございますので、事務局に7、8人のそういう分科会とか幹事会という名前で、本会の根回しの会というものをつくらせていただいて、一旦そこでお話させていただいて、些細な変更くらいなら、その会の了承で報告事項に変えてしまうとか、何でもかんでも協議事項に持ち上がらなくてもいいように会の運営をしていきたいと思っておりますので、その件を事務局のほうにおまかせいただければと提案させていただきます。いかがでございましょうか。

委 員： （異議なし）

会 長： では、事務局のほうにお計らいをお願いいたしますので、後からまた委員になられた方は、誠に申し訳ございませんが、ご審議のご協力をお願いします。

4 その他

海野委員： 2つお聞きしたいことがあります。市役所でこの地域公共交通会議など、毎日のように頻繁にいろんな市民の方が集まって会議が開かれているわけですが、その会議の

案内につつじバスの時刻、何時のどこ着のという案内が書かれたことがないんですね。行政として、つつじバスの利用を促進する一つ的手段として、市役所で開かれる会議の場合には、何時のバスをご利用になれば非常に便利ですみたいな、そういうことやっていくべきではないかなと思います。

もう一つは、つつじバスに今までニュースになっていないので大きな事故はなかったんじゃないかと思いますが、今後も事故が起きないためにということで確認なんですけど、ドライバーの休憩とかそういったものは適切になされているのかなと、通常長距離を走ると1時間半か2時間でトイレ休憩とかありますけれども、それはドライバーの休憩も含めているんだと思うんですね。半日走りっぱなしとかそういう実情はないのか、どんな形で休憩を取っているのかということをお尋ねしたいんですが。

事務局： 最初の会議の案内ですね、何時のバスだと何時に到着しますとかいうのはいいアイデアだと思いますので、私の課を含めまして全庁的にそういう提案もさせていただこうかなと思っております。これは福武線とかいろんな形も考えられますので、全庁的な形での取り扱いを検討させていただきたいと思います。

次に、運転手の安全安心のことですけれども、日ごろから業者さんには安心して安全な運転をお願いしていますが、具体的に休憩時間の取り方をどうするかというのは仕様書には書いてないんですけれども、業者さんでこうしているというのがあれば一言付け加えていただければと思います。

上田委員： 鯖江交通です。うちの場合は市役所から頂いた運行に従いまして、1日1人ということで運行させていただいています。運転の時間は約7時間弱ということで運転には問題ないんですけれども、ただ、雪とか交通渋滞のときに限っては、ちょっと長くなることもあるんで、そういうところはちょっと考えてほしいという点は何点かあります。それ以外は、天気がいい日や雨が降ったくらいでは運転手もつらいということはないでしょうし、そんなもんだと思います。

山本委員： トイレへ行く時間帯は人間生理現象がありますから、1時間にいっぺんとかそういう時間帯がないんです。運行している途中にトイレ行きたいなという場合もございませうし、その点がどうなってるのかなと思います。例えば JR なら JR のトイレへ駆け込んでトイレしてくるとかそういう忙しい思いはしています。昼の時間帯になったら大丈夫なんですけど。

会長： 私は、コミバスのダイヤを組んだり、いろんなアンケートをしたりとずっと関わっています。ご苦労がよく分かるんです。みんなの意見を聞いていたらバスは走らせることができないということになりますけれども、本当によくここまで育てていただいたなど、私は感謝しております。最初にこういうことを言いました。ダイヤについてはできるだけ定時で変えないでおこうと、時刻を猫だましみたいに、みんなの要望だからといって変えると、かえって皆さんが利用しなくなるし、コミバスの時間を覚えられない。JR の時間も 8 年か 10 年に一回変わるくらいですね。頭の中にインプット

されてるんです。ということで出来るだけ定時でどうだろうということを前からお願いしてございますんで、そのほうが利用する人にとっては、変わらないほうが3年なら3年、4年なら4年ずっと続けると自分の停留所の乗る時間を覚えるということですので。ということをご理解のうえ報告とさせていただきます。

何もなければ本日の協議事項は全部終わりましたので、お開きとさせていただきます。ありがとうございました。